



安全ニュース【2026年4月号】

(株)スタンダード運輸

(株)茨運 スズ工電機(株)

安全ニュース

2026年4月号



Standard TransportGroup



運行の安全を確保するための基本事項

- 法令遵守の再確認 国土交通省告示第1366号に基づき、トラックの運行安全を確保するための基本事項を遵守しましょう。
- 日常点検の徹底 規定に基づく日常点検を怠ると、重大事故を招く恐れがあります。
- 罰則と処分 適切な運転姿勢や点検を怠った事故では、運転者だけでなく、事業者も罰則や性分の対象となります。



Standard TransportGroup



「ながら運転」への厳罰化と意識改革

スマホ利用の代償：運転中にゲーム（ポケモンGOなど）をしながらの「わき見」は、たまたまの不注意とは一線を画す重い過失です。

実刑判決の事例：死亡事故を起こした場合、禁固1年4か月などの実刑判決が下されることがあります。

現在の罰則：携帯電話の使用により交通の危険を生じさせた場合、1年以下の懲役または30万円以下の罰金、さらに違反点数6点で免許停止となります。



Standard TransportGroup



構内におけるフォークリフト事故防止

接触防止措置の義務：労働安全衛生法により、フォークリフト運行時は誘導者の配置や歩行者との通路分離が義務付けられています。

責任の所在：構内での接触死亡事故が発生した場合、工場長や法人が労働安全衛生法違反の疑いで書類送検されます。

安全の徹底：「不十分な措置」は過失となります。作業者との距離を保ち、徹底した安全確認を行いましょ。



Standard TransportGroup



整備不良が招く重大事故の責任

タイヤ摩耗の危険性：タイヤの溝がない状態で走行しパンクすると、多人数が死亡する大事故を誘発する可能性があります。

刑事責任の追求：整備不良による事故では、運転者が不起訴となっても、所有者である会社や代表取締役が起訴されるケースがあります。

管理者の義務：2018年にはタイヤ脱落事故により、点検不十分として運行管理者や整備管理者も書類送検されています。



Standard TransportGroup



積込時、マニュアルの徹底